

## 〇〇保健所と国立成育医療研究センターでは 下記の研究を実施しております

**研究名：腸管出血性大腸菌感染症の病原体保有者に対する抗菌薬投与と排菌期間の関連を検討する後ろ向きコホート研究**

### 1. 研究の目的

腸管出血性大腸菌は毒素を産生し、出血性腸炎や溶血性尿毒症症候群の原因となるほか、ごく少量の菌量でも食中毒や保育施設などでの二次感染によるアウトブレイクの原因となることがあります。腸管出血性大腸菌感染症の症状の有無に関わらず、この菌を持っていることが判明した「保菌者」に対しては検便で菌が陰性になるまでの間、就業制限（特定の職業の場合）・登校(園)停止などの措置が取られ、これに伴う社会的損失は大きいと考えられます。腸管出血性大腸菌感染症の患者さんに抗菌薬を投与することで、便中に菌が排出される期間が短縮されるのかどうかは不明です。

この研究の目的は、腸管出血性大腸菌の保菌者（症状有無に関わらず）に対する抗菌薬投与と排菌期間の関連を明らかにすることです。

### 2. 研究の方法

- ① 研究対象：東京都内の保健所に2012年1月以降2019年12月31日までに届け出られた腸管出血性大腸菌感染症の患者さん。
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～ 3年間
- ③ 研究方法：保健所が保有する腸管出血性大腸菌感染症の患者さんに関する情報（3.研究に用いる情報の種類参照）を国立成育医療研究センターの研究者が集め、解析します。

### 3. 研究に用いる情報の種類

患者さんの年齢、性別、症状、検査結果、治療内容、合併症の有無など

※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報には調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

### 4. 情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

### 5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター  
東京都内の保健所  
国立感染症研究所

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2020年3月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

該当する保健所 担当者名

住所：

電話：

国立成育医療研究センター 感染症科 宮入 烈

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7764）

○研究責任者：

国立成育医療研究センター 五十嵐 隆